

青森労災病院で催されたクリスマス会で、楽曲を披露する八戸学院光星高吹奏楽部のメンバー



八戸

演奏やダンス 高校生が披露

青森労災病院
クリスマス会

八戸市の青森労災病院(玉澤直樹院長)は22日、同病院1階中央待合ホールで「クリスマス会」を開いた。市内高校生による演奏やダンスが披露され、患者らがクリスマスムードを楽しみながら、盛んに拍手を送った。

新型コロナウイルスの影響で2019年以来、4年ぶりの開催。入院患者に季節感を味わってもらおうと催された。

八戸学院光星高吹奏楽部が「もろびとこぞりて」や「勇気100%」、ハンドベルによる「おめでどうクリスマス」など計7曲を披露したほか、千葉学園看護専攻科が八戸小唄に合わせた踊りや軽快なダンスを発表し、会場を大いに沸かせた。

骨折して入院していると、いう洋野町の60代女性は、「すごく楽しい時間を過ごせた。退院に向け、リハビリを頑張る気持ちが出た」と笑顔を見せた。

(松橋広幸)